

2. 事業の目的と概要	
(1) 事業概要	本事業はカンボジア王国バットアンバン州バットアンバン市において、幼児向けの図書室を備えたモデル幼稚園を設立し、幼児教育への読書推進の導入を通じて、幼児教育の質を改善し、対象地の幼児のより良い成長を目指すものである。具体的には、①幼児向けのモデル園舎及び園庭の整備、②幼児向けのモデル図書室・図書コーナーの整備、③幼稚部教員及び図書館員が図書室を有効活用するための能力強化の3つの活動を行う。 対象幼稚園はバットアンバン市中心部に位置する「バットアンバン市中央幼稚園」で、同幼稚園教員は州内の他の幼稚園教員に対する研修を行うなど、幼児教育の質の底上げの中核的役割を担っている。同園の幼児教育の質の改善が促されることにより、将来的に本事業の効果はバットアンバン州全体に広がることが期待される。 This project aims at quality improvement of early childhood education through establishment of a model preschool equipped with library in Battambang city in Cambodia. The project consists of 3 main outputs; 1) establishment of model preschool building and playground, 2) establishment of model library room for preschool children and 3) capacity building of preschool teachers and librarians.
(2) 事業の必要性（背景）	カンボジアでは、幼児教育を受ける3-5歳の幼児の割合は43.1%¹にとどまる。適切な幼児教育の不足は初等教育にも悪影響を及ぼしており、家庭等の事情により就学適齢年齢を過ぎて入学する児童が23.0%、小学校1年生児童の留年率が11.6%、退学率が4.8%に上る²。 アクセスの課題に加え、幼児教育の質も大きな課題である。幼稚部教員養成校はカンボジア国内に1箇所しかなく教員不足が深刻である。そのため十分に訓練を受けていない小学校教員、あるいはほとんど経験のない村人が幼稚園教員を務めているケースも少なくない。さらに、園舎や教室が足りず、幼児教育では欠かせない教材や絵本が全くない幼稚園も多い。そして、カンボジアの経済発展が注目される一方で、都市と農村の格差の拡大が進んでいる現状がある。特に農村部では、親が出稼ぎで村を離れてしまい、高齢の祖父母や親戚が幼児の世話をせざるを得ず、家庭での十分な教育やケアができていないケースも多い。 乳幼児期は、脳が最も急速に発達する時期であり、6歳までに生じた発達の遅れはその後の発達段階で取り戻すことが難しい。カンボジアの貧困層の子どもやその他の不利な状況にある子どもは、家庭でのケアや教育が不足しがちであり、乳幼児期に生じた発達の差は、その後の学習達成度の差、さらには将来的な生産能力の差にもつながる危険性が高い。適切なケアと適切な教育を乳幼児期に受けられるよう保障することは、貧困層と富裕層の格差を縮め、貧困の再生産を防ぐ上で重要である。 カンボジア王国教育・青年・スポーツ省（以下、教育省）は幼児教育の推進に着手すべく、教育のアクセスと質の両面の改善に向けた諸々の政策を講じている。その一つが他の幼稚園に対する運営・指導のモデルとなる「中央幼稚園（Resource Preschool）」の設置とその能力強化である。

¹ Education Congress, Ministry of Education, Youth and Sport, March 2018

² Education Statistics and Indicators 2016-2017, Ministry of Education, Youth and Sport, March 2017

教育省は、中央幼稚園の環境と活動内容を充実させ、同園が他の幼稚園の運営・指導モデルとなり、他の幼稚園への研修などを行うことで、各地域の幼児教育の質の向上につなげていくことを目指している。具体的には、中央幼稚園教員の一部は州内の他の幼稚園教員等への研修や指導を行うインストラクターとしての任務を負っているほか、教育省がカリキュラム改訂を行う際に、新カリキュラムの導入を他の公立幼稚園に先立って実施するなどの役割を果たしている。本事業の対象地域であるバタンバン州は、現在カンボジアで進められている教育改革を含めた地方分権化のパイロット州に指定されており、州全体で 356 カ所の公立幼稚園が存在するが、「バタンバン市中央幼稚園」が、州内の幼児教育の質の改善に対して、中心的役割を担うことを強く期待されている。

しかしながら、バタンバン市中央幼稚園では、同園に入学する幼児の増加に伴い、教室やトイレが恒常的に不足し、他の幼稚園へのモデルとなる活動を十分に行うことができない状況にある。同中央幼稚園における 1 クラスあたりの園児数は、平均 50.1 名にのぼり、これは教育省が定める 1 クラスあたり 25 名定員の 2 倍に達している。現在、451 名の園児が同幼稚園に在籍しており、1 クラスあたり 25 名定員を実現するためには、18 クラスが必要である中で、現時点で 9 クラスが運営されているのみである。園児および教員は、教室不足に伴う過密状態のクラスでの指導・学習を余儀なくされており、それは教員の指導の難しさ、園児の学習活動のしにくさに大きな影響を与え、円滑な指導および十分な学習習得を阻害する大きな要因となっている。またトイレは 2 室しかなく、1 室あたり 225.5 人で利用せざるを得ない状況である。

これらの課題背景から、教育省幼児教育局は当会に新しい園舎の建設支援を強く要請している。さらに同園は、幼児教育の質の改善のために、図書館活動を充実させることを目指している。具体的には、幼児向けの絵本の読み聞かせや貸出、おはなし教材の制作と展示、折り紙・教材活動の実施を行うことができる図書室の整備を行いたいと考えており、そのためのハード・ソフト両面の支援を必要としている。図書館活動は、読み聞かせや絵本に触れる機会の増加を通じて幼児の言語の習得を助けるのみならず、おはなしの内容や構成に触れることで考える力や想像力、他者を思いやる力など、認知的スキル及び非認知的スキルを身に着けることにつながる。こうしたスキルの向上は、将来的により良い学業成績を収めることにつながることはもちろん、その後の人生における賃金や就労、健康管理、犯罪率などに大きく影響することが指摘されており³、最終的には貧困の削減に貢献する。

上述の通り、同園はバタンバン州におけるモデル幼稚園としての中心的な役割が期待されているが、その一環として、バタンバン市内の幼稚園教員が一堂に会してのピア・ラーニングを行う月例会合の実施幼稚園となっており、同園の環境整備及び他へのモデルとなり得る図書館活動の充実は、バタンバン市内の幼稚園の教育の質の改善につながることで大いに期待される。さらに、同園の教員は州内の公立幼稚園やコミュニティ幼稚園の教員への研修も担うことから、同園の教員の能力強化は将来的には、バタンバン州全体の幼児教育の底上げにもつながることが期待される。

教育省がバタンバン州を新しい制度整備や、制度改善におけるパイロット州と位置付けていることから、バタンバン州の幼児教育の向上における

³ 『幼児教育の経済学』、ジェームズ・J・ヘックマン、2015 年

	モデルの確立は、カンボジア国全国における幼児教育の普及、向上に貢献することにつながる。幼児教育の質の向上は、就学準備にもつながり、小学校への就学率及び滞留率にも影響するといわれている。幼児教育の充実、初等教育の接続において重要な役割を果たす。故にカンボジアの教育基盤に大きく貢献するものであり、教育基盤整備は貧困削減に直結することは開発協力大綱⁴においても貧困撲滅を実現すべく支援の一つとして「万人のための質の高い教育」を挙げており、本事業も貧困削減に資する事業である。 ●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性 本事業はSDG4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」に沿ったものである。特に幼児教育については、「4.2 2030 年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする」とされている。 ●外務省の国別開発協力方針との関連性 外務省の対カンボジア王国国別開発協力方針は、経済社会基盤の更なる強化を大目標として掲げ、次世代の人材育成に着手するとしている。また、人間の安全保障の実現を念頭に、都市部と地方部の格差などの問題の解決を図るとしている。 幼児教育は人間の発達の基礎となるものであり、次世代の人材育成に貢献すると考える。またバタンバン州は、農村部及びタイ国境地域において特に貧困率が高く、タイへの出稼ぎ労働者も多い。バタンバン市中央幼稚園は州内の他の幼稚園への研修等を行う役割も担うことから、同園の機能強化は州内の幼稚園の質の改善に寄与するものであり、都市部と地方部の格差の縮小につながることを期待される。 ●「T I C A D V Iにおける我が国取組」との関連性： 非該当
(3) 上位目標	バタンバン市中央幼稚園における図書館活動の取り組みがバタンバン州内の公立幼稚園に広がる。
(4) プロジェクト目標	バタンバン市において図書館活動を中心としたモデル中央幼稚園が設立される。
(5) 活動内容	<u>活動 1 園舎及び園庭の整備</u> 1-1. 幼稚園及び学校支援委員会と事業開始のためのキックオフ会議を行う。 ・幼稚園、学校支援委員会、州・郡教育局等の関係者間で事業実施に当たっての協力体制やスケジュール、建設中のモニタリング体制などを確認する会議を行う。 1-2. 新しい幼稚園園舎の建設を行う。 ・教室不足及びトイレ不足を解消するため、RC 構造（鉄筋コンクリート）の 2 階建て園舎を建設する。新園舎は教室（5 室）、図書室（1 室）、トイレ（3 カ所計 15 基室、うち 1 カ所は身体障害児用）で構成する。これにより、1 教室当たりの園児数及びトイレ 1 基当たりの園児数が改善することが期待される。 ・建設中は旧園舎での授業を継続することを対象幼稚園と確認済みである。園庭は資材置場兼建設作業スペースとして活用する。 また、安全確保のため、資材置場兼建設作業スペースを含む建設

⁴ 開発協力大綱、外務省 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000072774.pdf>

	現場には、簡易フェンスを設置し、園児および幼稚園関係者が立ち入れないようにする措置をとる。 ・園舎建設に当たっては、申請団体所属のエンジニアが月に 2 回モニタリングを行い、設計通り進められているか確認し、問題があった場合には速やかに改善指導を行う。また、建設業者は建設完了後 1 年間、瑕疵担保責任を負うことを契約書に明記する。 1-3. 教室用家具・資材を配布する。 ・園児用の家具（机、いす、かばん用フック、教材棚など）及び装飾資材を配布し、教室環境の整備を行う。園児用の名前シールの活用や片付けがしやすい教材棚の設置などを通じ、園児の発達を促す教室づくりを行う。 1-4. 自然物や運動用具を備えた園庭を整備する。 ・植樹や砂場の設置、遊具の設置等を行い、園庭を整備する。 1-5. 教室及び園庭の整備状況のモニタリングを行う。 ・教室用家具・資材の配布後の教室の整備・装飾の進捗状況、設置した砂場や遊具の状態を確認する。 1-6. 幼稚園教員に対し、園舎の維持・管理研修を行う。 ・園舎の維持管理方法を学ぶ「維持・管理研修会」を実施する。 1-7. 園舎の贈呈式を行う。 ・日本大使館関係者、カンボジア政府関係者、幼稚園教員、保護者、園児の参加のもと、園舎の贈呈式を行う。 活動 2 図書室及び図書コーナーの整備 2-1. 図書室・図書コーナー用家具及び資材を配布する。 ・対象幼稚園における図書館活動を通じた教育の質の改善を図るため、園舎建設の完了後、図書室及び各教室に図書コーナー用の家具、資材を配布する。 2-2. 幼児向けの絵本を配布する。 ・カンボジア国内で出版されている幼児向け絵本及び申請団体が実施する「絵本を届ける運動」によって収集した、日本語の絵本にクメール語の訳文を貼り付けた絵本を配布する。 2-3. 図書館員、幼稚園教員及び幼児と協力して図書室・図書コーナーを装飾・整備する。 ・図書館員や幼稚園教員と協力して、読書コーナーや教材・玩具コーナー、視聴覚教材を活用できるスペースを備えた図書室を整備する。一部の壁面装飾は園児と共に行い、園児にとって親しみやすい図書室作りを行う。 2-4. 図書室・図書コーナーの装飾・整備状況のモニタリングを行う。 ・絵本の登録作業の進捗状況や登録した絵本の配架状況等の確認を行う。 活動 3 図書館員及び幼稚園教員の能力強化、保護者への啓発 3-1. 家庭での読書推進のための保護者向け啓発活動を行う。 ・「国民読書の日」や幼稚園入園キャンペーンなどの際に、保護者向けの啓発活動を行い、家庭での読書推進を図る。 3-2. 「幼児教育のための教材制作研修（おりがみ、廃材活用など）」を行う。
--	--

	・廃材を使った教材作りや、折り紙の実践などを行い、図書室内の教材・玩具コーナーを充実させ、幼児の手指の発達や創造力の向上につなげることを目指す。 3-3. 幼児向け図書館活動について学ぶ訪日研修を行う。 ・日本の幼児教育における図書館活動の実践について学び、バタンバン市中央幼稚園の図書館活動の取り組みに活かすと共に、将来的にカンボジアの幼稚園における図書館活動の充実につなげることを目指す訪日研修を実施する。 ・参加者はバタンバン市中央幼稚園の図書館員と教員、バタンバン州教育局職員、教育省幼児教育局及び教員養成局、幼稚部教員養成校教員とする。 ・研修期間は約 1 週間で、①幼児向けの図書館活動の理論、②日本の図書館での幼児向け図書サービスの視察、③日本の幼稚園／保育園における図書館活動を取り入れた実践の視察と実習などの内容で構成する。(別添参照) 3-4. 「幼児教育のための図書室活用研修」を行う。 ・絵本の管理や貸出方法など運営面の内容に加え、図書室や絵本を活用した活動計画作りの実践などで構成された図書室活用研修を実施し、設置した図書室及び図書コーナーが日々の活動において有効に活用されるようにする。 3-5. 図書館員及び幼稚園教員による日々の活動での図書室活用を促進する。 ・図書館員と教員が研修を通して学んだ内容に基づいた活動が実践できているかを確認するモニタリングを行い、問題点の解決や活動の改善に向けたアドバイスを行う。 3-6. 図書室活用の実践のグッド・プラクティスを他の幼稚園に紹介するテクニカル・ミーティングを実施する。 ・バタンバン市の幼稚園教員が参加する月例会議の「テクニカル・ミーティング」において、バタンバン市中央幼稚園における図書館活動の実践のグッド・プラクティスを共有する。 直接裨益者数： - バタンバン市中央幼稚園教員 11 人 - バタンバン市中央幼稚園幼児 451 人 (男児 239 人、女児 212 人) - バタンバン州教育局幼児教育課職員 7 人 - バタンバン市教育局幼児教育担当職員 2 人 間接裨益者数： - バタンバン市内の公立幼稚園教員 68 人 - バタンバン市内の幼児 (3-5 歳) 9,949 人
(6) 期待される成果と成果を測る指標	<u>成果 1 幼児向けのモデル園舎及び園庭が整備される。</u> 【指標】 1-1. 幼稚園の園舎及び園庭が教育省基準を満たしている。 1-2. 場づくりチェックリストのスコアの平均値が「良い」以上である。 * 「良い」は 4 段階評価の上から 2 番目に相当する。 * チェックリストでは、衛生環境、靴箱やかばん用フック、教材棚や展示スペースなどの各スペースが適切に整備されているかを 4 段階評価で確認する。

	【確認方法】 チェックリストに基づく園舎及び園庭の観察、インタビュー <u>成果 2 幼児向けのモデル図書室及び図書コーナーが整備される。</u> 【指標】 2-1. 図書室環境チェックリストのスコアの平均値が「良い」以上である。 * 「良い」は 4 段階評価の上から 2 番目に相当する。 * チェックリストでは、図書室の清潔さ、絵本の管理と配架、教材・玩具の整理、保護者向けの情報発信などを 4 段階評価で確認する。 【確認方法】 チェックリストに基づく図書室環境の観察、インタビュー <u>成果 3 幼稚部教員及び図書館員が、保護者と協力して、図書室を日々の活動で効果的に活用するための実践的な知識と技能を身に着ける。</u> 【指標】 3-1. 「幼児教育のための図書室活用研修」参加者の 80%以上が事前・事後テストのスコアを向上させる。 3-2. 「幼児教育のための教材制作研修」参加者の 80%以上が事前・事後テストのスコアを向上させる。 3-3. 幼児向け図書館活動に関する訪日研修の参加者の 80%以上が事前・事後テストのスコアを向上させる。 3-4. 保護者向けの読書推進啓発活動が最低 3 回実施される。 【確認方法】 研修前後に行う事前・事後テスト、啓発活動の実施記録
(7) 持続可能性	組織面、資金面、技術面の持続発展性の確保に向けた対策は以下の通り。 - 組織面：対象幼稚園は公立幼稚園であることから、組織面の持続発展性に大きな問題ない。また、州内の教員配置に責任を負うバタワン州教育スポーツ青年局は、同幼稚園の教員数を今後増やしていくことを約束している。 - 資金面：上述の通り対象幼稚園は公立幼稚園であることから、教員給与及び建物の維持管理費を含む資金は教育省予算から確保することができる。教育省予算が不足する場合、保護者への寄付を募るなどの方法で資金調達を行うことを同幼稚園長は約束している。 - 技術面：建物の維持管理や図書室の有効活用についての研修会を幼稚園教員及び図書館員に対して行うことで、事業終了後も施設が良い状態に保たれ、活動の充実のために有効活用されることを担保する。また、対象幼稚園を管轄するバタワン州教育局及び市教育局職員を研修会に招聘することで、彼らが事業終了後もモニタリングを行い、対象幼稚園が継続的に図書室を有効活用し、活動を発展させていくことができるようにする。

(ページ番号標記の上、ここでページを区切ってください)